

25年卒の7割以上が「就職活動に納得」。内々定保有者の約4割が「3社以上」内々定就職活動を終える学生の心境は「漠然と社会人になることが不安」

「マイナビ 2025年卒 大学生活動実態調査（6月15日）」

株式会社マイナビ(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員:土屋芳明)は、2025年卒業予定の全国の大学生、大学院生を対象に実施した、「マイナビ 2025年卒 大学生活動実態調査(6月15日)」の結果を発表しました。

TOPICS

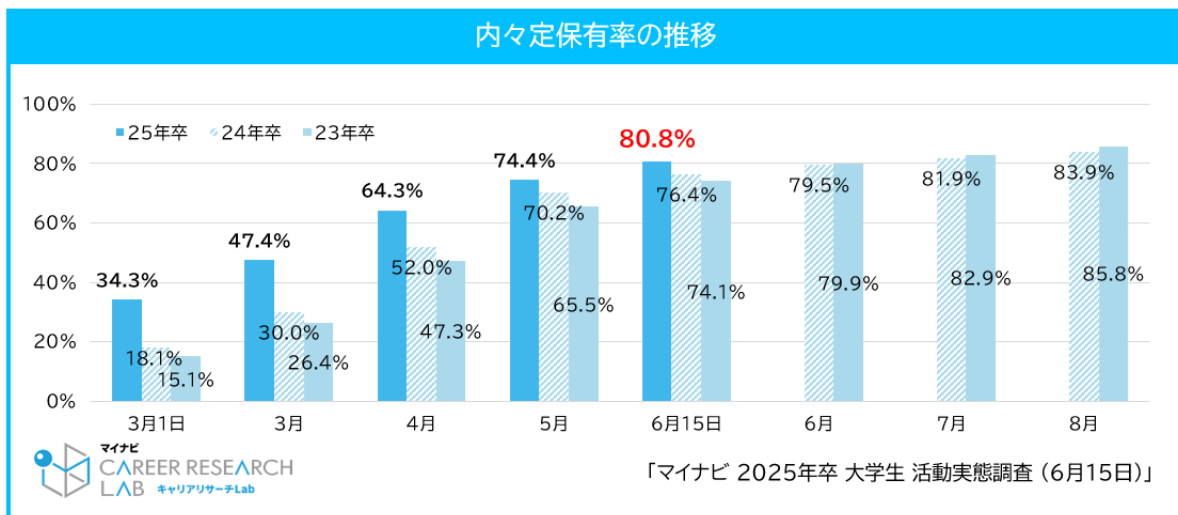
- ◆ 2025年卒の内々定率は80.8%。内々定保有者の約4割が3社以上の内々定を保有【図1、2】
- ◆ 未内々定者の約4割が「将来やりたい仕事かわからない」と回答【図3、4】
- ◆ 就職活動を終える学生の心境は「漠然と社会人になることが不安」が最多【図5、6】
- ◆ 74.3%の学生が「納得できる就職活動ができている」【図7】

【調査概要】

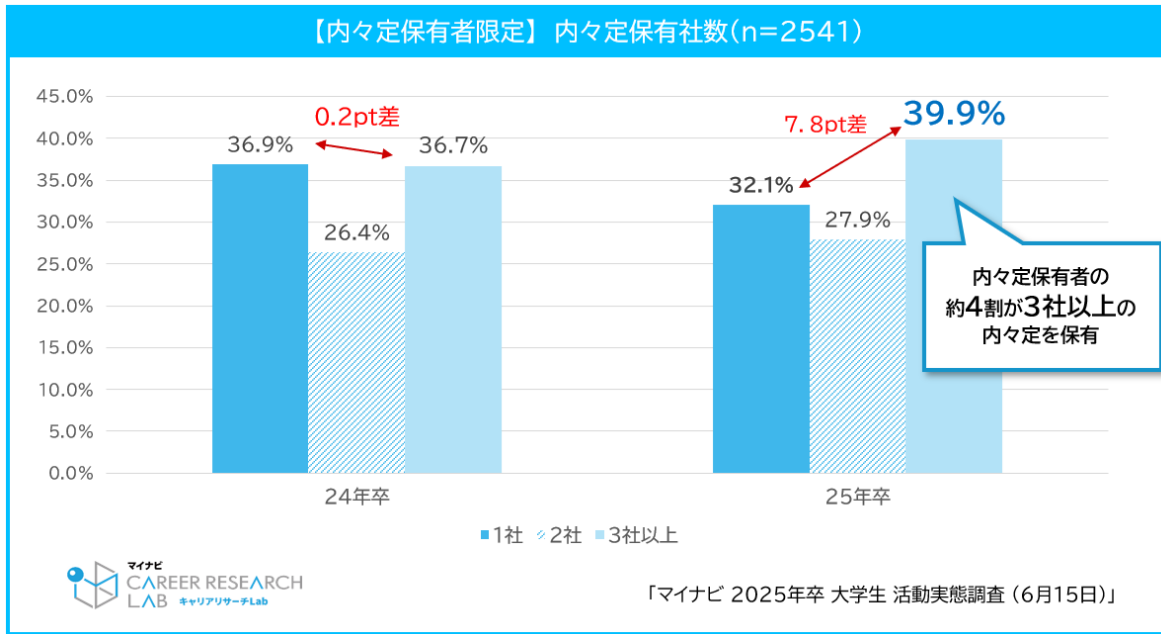
2025年卒の内々定率は80.8%。内々定保有者の約4割が3社以上の内々定を保有

2025年卒業予定の学生の6月15日時点での内々定率は80.8%(前年比4.4pt増)だった。内々定保有者の社数を見ると、1社保有している学生(32.1%)よりも3社以上保有している学生(39.9%)の方が7.8pt多かった。昨年は同程度(0.2pt差)だったが、今年は複数内々定を獲得している学生が増加している。【図1、2】

【図1】



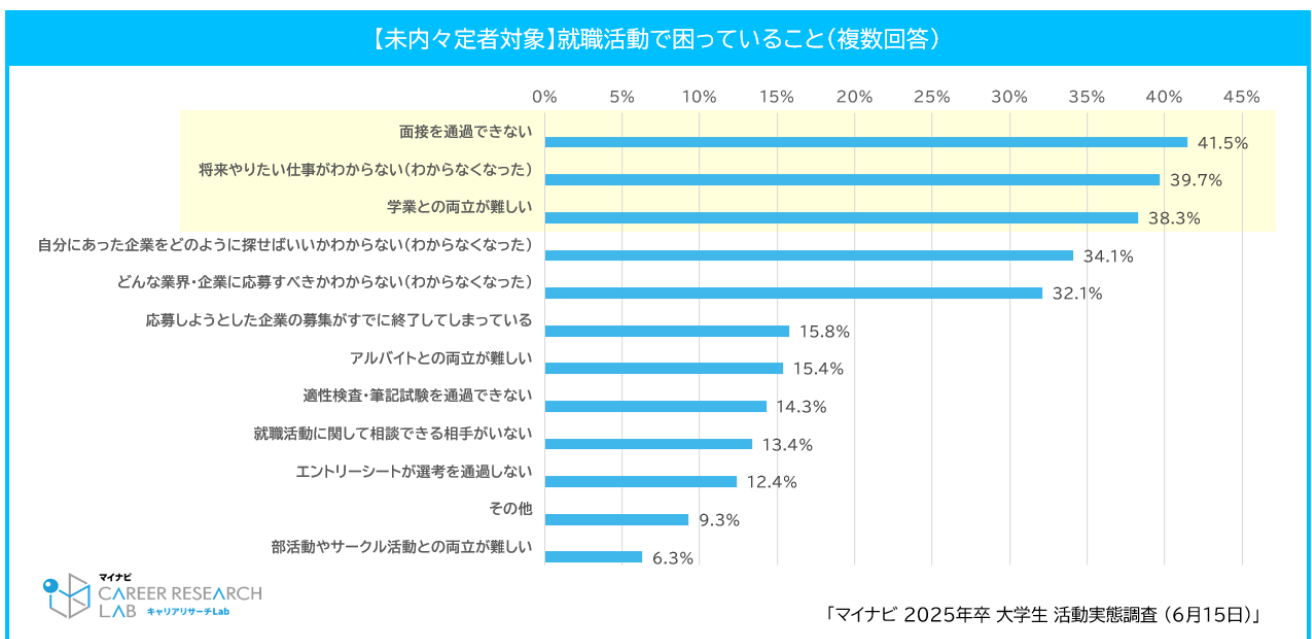
【図 2】



未内々定者の約 4 割が「将来やりたい仕事がない」と回答

未内々定者に現在困っていることを聞いたところ、「面接を通過できない」が最多で 41.5%で、「将来やりたい仕事がない(わからなくなった)」(39.7%)、「学業との両立が難しい」(38.3%)が続いた。自由回答では、「不合格理由がわからない」、「やりたいことがわからない」などの声が挙がり、今後の活動に対する不安を感じている様子がうかがえた。【図 3、4】

【図 3】



【図 4】

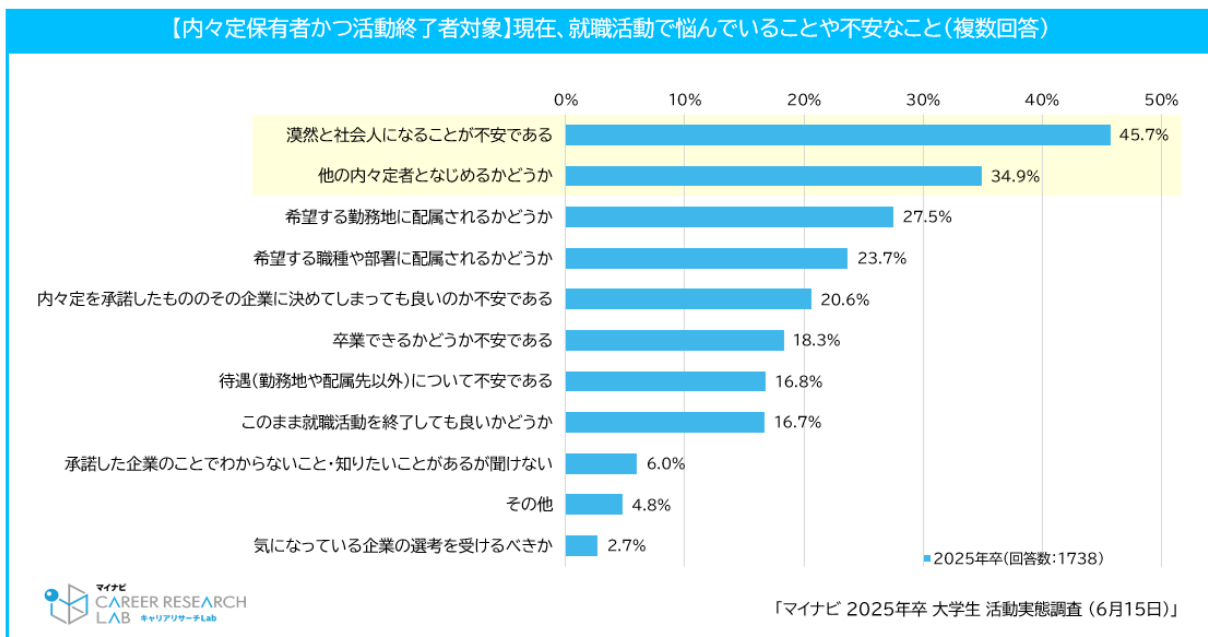
【未内々定者】現在、就職活動で困っていること(自由回答)	
属性	内容
理系女子	自分のやりたいことが定まっていないため志望理由ややりたいことの深堀をされると答えにくい
文系女子	業界業種を絞っているのに、落ちまくって受けられる企業がどんどん少なくなっている。
文系女子	選考に落ちる度にやりたいことが不透明になってしまい、自分の生きる価値がないように感じてしまいます。何をモチベーションに頑張ればよいのかわかりません。
理系女子	学業(研究やゼミ)が忙しく、実験の経過に合わせて予定が定まるため計画通りに就職活動を進めにくくて悩むことがある。また、就活に対してお金を借したくない気持ちと、学業や就活でバイトの時間が取れないために満足のお金のかけ方ができず困ることがある。
文系男子	ESの通過率が高いものの1次面接で落とされる場合が多く、フィードバックを得られるものでもないため、実際にどこを改善すべきなのか、そもそも面接が原因で落とされたのか(消去法で落とされたのか)がわからないこともあり不安になる。
文系女子	就職活動に必要なお金(交通費等)を、アルバイトで稼がなければならない為、アルバイトと就職活動の両立が難しい。
理系男子	教員を第一志望にしているが、試験に落ちたら企業に就職することを考えている。しかし、理系の企業はすぐにエントリー終了してしまうためエントリーできない。
文系男子	適性検査・筆記試験の通過基準が分からず、通過できないこともあるためどうすれば良いのか全く分からない。インターネット上では通過することが当たり前のようにされているが、対策しても全然通過できない。
文系男子	具体的な将来設計が出来てないことでモチベーションの低下や企業の絞り方が分からなくなりつつあること

「マイナビ 2025年卒 大学生 活動実態調査 (6月15日)」

就職活動を終える学生の心境は「漠然と社会人になることが不安」が最多

就職活動を終了する学生に現在の悩みや不安を聞いたところ、「漠然と社会人になることが不安である」(45.7%)という回答が最も多かった。次に多かったのは「他の内々定者となじめるかどうか(34.9%)」で、就職後の新しい環境への不安を感じているようだ。さらに自由回答では「不安はない」という声も挙がる一方で「必要単位が取得できるか」、「卒業研究が完了するか」などの学業に関する不安や、待遇・勤務地など働き始めるにあたって必要な情報が共有されていないことへの不安の声が挙がった。【図 5、6】

【図 5】



【図 6】

【内々定を持ち、活動終了した学生】現在、就職活動で悩んでいることや不安なこと(自由回答)

属性	内容
文系女子	内定先の企業で働くことがとても楽しみなため、特に不安はない。
文系男子	内々定をもらった企業から正式に内定をもらう時期やその形式がわからず、このまま終えて大丈夫なのか心配です。
理系男子	学生と社会人の違いに漠然と不安を抱えている。
文系女子	勤務地について。大学へ通うために一人暮らしをしており、3月には住んでいる家を出なければならないため、居住関連の心配がある。5月に配属先が判明するとして、何度も引越しを行う手間や金銭的な負担が心配。
文系女子	専門科目の取得があまり満足にできておらず、単位が足りない可能性があり恐れている。また、卒業研究が無事に完成するかも不安である。
理系女子	内定ブルーです
文系女子	休日日数や詳しい残業時間については面接などで聞くのかタプーかな、と思い、結局情報収集した際の、ホームページなどで提示されているような情報が得られていないので、待遇については少し不安がある。
文系男子	社内口コミが少し悪く本当にこの会社でいいのかは悩みどころである。が口コミの母体数が少ないのであまり気にしない方がいいのか悩んでいる。
文系女子	会社とプライベートは完全に切り離したいと考えているので、近づきすぎずに仲良くできるかが不安です。

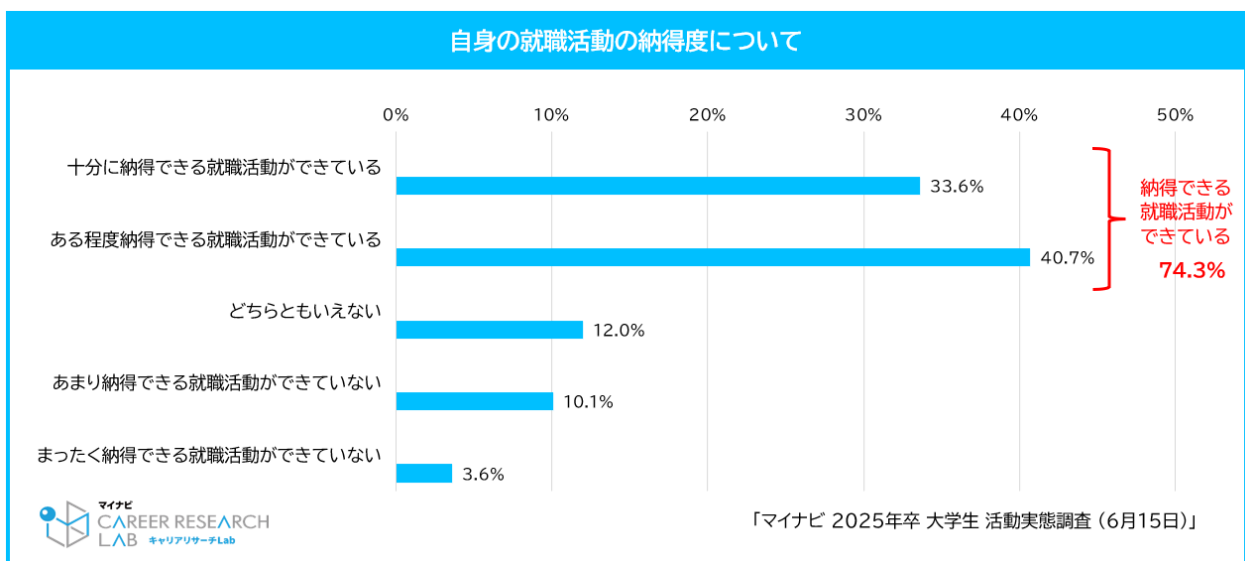
マイナビ CAREER RESEARCH LAB キャリアリサーチLab 「マイナビ 2025年卒 大学生 活動実態調査 (6月15日)」

74.3%の学生が「納得できる就職活動ができている」

これまでの就職活動に対しての「納得感」を聞いたところ、納得できる就職活動ができている※と回答した学生は 74.3%となった。内々定率は 8 割を超え、複数内々定を獲得する学生も一定数いる中、多くの学生は現状に納得できているようだ。【図 7】

※:「十分に納得できる就職活動ができている」+「ある程度納得できる就職活動ができている」の合計

【図 7】



【調査担当者コメント】

6月中旬になり、内々定率が8割を超えました。7割以上の学生が納得のいく就職活動ができていることがわかり、多くの学生がこれまでの活動について前向きにとらえている様子が見えます。しかし、内々定の有無に関わらず、自身のキャリアについて悩んでいる学生が多いようです。悩んでいるのが自分だけだと思わず、周囲に相談して、前向きに自分自身のキャリアと向き合っていただければと思います。

キャリアリサーチラボ 研究員 中島 英里香



【調査概要】「マイナビ 2025年卒 大学生活動実態調査（6月15日）」

○調査期間／2024年6月10日(月)～6月15日(土)

○調査方法／マイナビ2025の会員に対するWEBアンケート

○調査対象／2025年3月卒業見込みの全国の大学3年生、大学院1年生

○調査機関／自社調べ

○有効回答数／3,244名(文系男子632名 文系女子1,275名 理系男子722名 理系女子615名)

※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細はこちら(https://career-research.mynavi.jp/reserch/20240621_80657/)からご確認ください。

「働く」の明日を考える マイナビキャリアリサーチ Lab



『マイナビキャリアリサーチ Lab(ラボ)』は、雇用や労働に関連する様々な調査データやレポートを通じて、雇用の在り方や個人のキャリアを考える上で役立つ情報を提供するサイトです。蓄積してきた調査結果、新たに分析した雇用関連のレポート・コラム、市場データといった情報の提供を行い、組織と個人をつなぎ、社会全体でキャリアの在り方を考える一助を担います。

【当社に関するお問い合わせ先】 株式会社マイナビ 社長室 広報部 松田 Email:koho@mynavi.jp